



## 修学旅行 感謝の気持ち

四日市市立内部中学校 第9号

6月3日(木)から5日(土)の3日間で修学旅行を実施しました。参加した生徒が、大きなトラブルもなく、安心して旅行ができたことは、様々な方のご理解とご協力があったことです。心より感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の関係で市教委より指示があり、当初予定していた東京方面への旅行ができなくなりました。そこで、校内外にて相談をして、三重県と和歌山県を中心とした学習や活動を計画しました。

出発直前まで、本当に実施できるかどうか心配していましたが、生徒たちや先生方の思い、様々な方のご尽力により、無事実施することができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。



初日は、南紀白浜のアドベンチャーワールドまで一気にバスを進めました。園内ではパンダやイルカのかわいい姿に癒されるとともに、園内をグループごとに見学しました。その後はホテル(南紀白浜マリオットホテル)に入り、班員と共にゆっくりと食事を楽しみ、その後は白良浜まで歩き、夜の海辺を満喫しました。

串本海中公園『三段壁洞窟・くじらの博物館・那智の滝』『トルコ記念館・潮岬タワー』の4つのグループに分かれて体験型の学習を行いました。なかなか訪れることのできない南紀の地で、それぞれが貴重な体験をすることができました。ホテル&リゾート伊勢志摩にて夕食を味わった後に、各部屋で親交を深めるなど、有意義な夜を過ごしました。

2日目は、天候の関係で『三段壁洞窟・和歌山県世界遺産センター・熊野本宮大社』『えびとカニの水族館・



3日目は、天候も回復し、チャーター船や横山展望台か



ら、英虞湾の美しい景色を味わいました。二見の夫婦岩シーパラダイスで昼食をとり、新しくできたVISON多気で購入物等した後、帰路につきました。

3日間を通して時間を守るなど行動やマナーも良く、とても充実した旅行となりました。また、生徒たちは仲間との時間をたっぷり満喫することができました。

実行委員会のメンバーがよく活躍してくれました。



修学旅行は、学習活動の一環です。3日間を通してたくさんの学びがありました。

様々な見学をして、その歴史について知ることや、生き物の生態、地学や自然、人と人との交流等、多くのことを学ぶことができました。また、見学地をたくさん歩いたことは保健体育、寺社や美しい景色を味わったことは技術や美術、そして全行程は社会の地理と、これまで学習したことと結び付けて見学や体験をすることができた生徒が多くいました。そして、語り部さんの話をしっかりと聴くことからたくさん学びました。



バスに乗っている時間が多い旅行でしたが、そのことで紀伊半島の大きさを体感できたと思います。実際に訪問したことは、生きた知識として残ることでしょう。やはり旅にでることは学びであり、人間を豊かにします。

またそれだけではなく、仲間と協力すること、折り合いをつけること、時間を守ること、身支度を整えること、健康に留意すること等、多くのことを学ぶことができました。

出発式で校長から、「みんなで楽しむこと、マナーを守ること」を生徒たちに話しましたが、どちらもしっかりと実践できました。マナーについては、食事のマナー、他者と接する際のマナー、街中でのマナー等、多くのマナーを実践することができました。ホテルを出発する際、お世話になったホテルの方へお礼のメッセージを書いた生徒が何人かいたことに、心を温かくしました。あいさつや「ありがとう」の気持ちを伝えることができるのは、心が成長している証です。



最後に、今回の修学旅行はタイトルの通り、『感謝』の一言につきます。行程を何度も吟味した学年の先生方、その要請に真摯に対応して下さった旅行会社の担当者、安全にバスを運行して下さった運転手の皆さん、生徒たちの安全を考慮しつつも修学旅行の実施を確保して下さった教育委員会、そして何よりも、ご理解ご協力いただいた保護者の皆様、おかげで生徒たちにとって、充実した楽しい修学旅行となりました。本当にありがとうございました。

